



4月25日 大槌町高校生
マイプロジェクトアワード

町内の高校生が、自分の身の回りの課題を見つけ、自分の思い描く未来へ近づくように、自ら行動し学びを深めていく活動「マイプロジェクト」。その成果を発表する、「マイプロジェクトアワード」が開催されました。会場には3組の高校生が登場し、それぞれ「教育」「心のケア」「郷土愛」をテーマとしたプロジェクトを発表しました。高校生自身が企画し、地域に入り込んで実施した成果発表に、会場からは質問や感想と共に、多くの拍手が送られました。



4月27日 (仮称)三枚堂大ケロトンネル
築造工事安全祈願祭



大槌川流域と小錕川流域の通行を可能とする、(仮称)三枚堂大ケロトンネルの築造工事安全祈願祭が開催され、工事関係者や来賓らが見守る中、神事が行われました。祈願祭では、大ケロ保育園の園児たちから、工事関係者への呼びかけが行われ、「災害が起きても安心できます。大きくなったら、自分の車で走ってみたいです!」と元気に激励し、関係者の皆さんの笑顔を誘いました。



各校で熱戦
運動会

1 勝利の喜びを爆発させる9年生(大槌) 2 1~4年生の徒競走(大槌) 3 小、中をまたぎ、5~9年生で行われた綱引き(大槌) 4 3、4年生の表現「YOSAKOIソーラン」(大槌)

5月20日(土)、晴れ渡る青空の下、大槌学園、吉里吉里学園小学部の運動会が各校グラウンドで行われました。大槌学園では、9学年同時に参加する運動会は今年度が初めて。プログラムや競技スケジュールを一新しました。赤、青、黄の3つの組に分かれた子どもたちは、新しい競技やダンスに精一杯取り組み、応援合戦や綱引きでは7、8、9年生が見事なリーダーシップを発揮しました。吉里吉里学園では、赤、白の二組に分かれて対戦。通常の競技の他、用具の準備や片づけを競いあったり、保護者の皆さんと一緒に競技を行うなど、特色のあるプログラムが会場を沸かせました。両校とも、暑い日差しの中、子どもたちは最後まで力を振り絞り、会場は応援に来た家族や地域の人達とともに、大きな盛り上がりを見せました。



5 白熱する応援合戦(吉里吉里) 6 家族と一緒にレース、喜びも2倍(吉里吉里) 7 2人3脚、呼吸を合わせて(吉里吉里) 8 空を見上げ、懸命に玉入れ競争(吉里吉里)

YOUNG OTSUCHI | No.15 ワカモノ紹介

元気の良さがチームの長所
最後の夏、悔いを残さず精一杯

大槌高校3年 小林 怜央さん(17歳)



大槌高校野球部でキャプテンを務める小林怜央さん。ポジションはキャッチャー。チームのまとめ役として重要な役割を担います。大槌高校野球部は、3年生5名、2年生5名、マネージャーを含めて14名と、人数の少ない中、夏の大会に向けて頑張っています。「昨年7月にグラウンドが完成し、恵まれた環境で練習に打ち込むことができてうれしい」と話す小林さん。春の地区予選では、4点ヒートから粘り強く戦い、6点を奪って逆転勝利。「自分たちの野球ができれば勝てる」と自信をもったそうです。

将来は地元に残って働きたいという小林さんですが、「野球はずっと続けたいけれど、高校野球は最後の年。悔いが残らないよう精一杯やりたい」「先生や保護者、地域の皆さんの支えを受け、野球に集中できる環境に感謝しながらプレーしています。一つでも多く勝つことを目指してがんばりますので、応援よろしくお願いします」と、最後の夏にかける思いを力強く語ってくれました。



も多くの勝つことを目指してがんばりますので、応援よろしくお願いします」と、最後の夏にかける思いを力強く語ってくれました。

